



日付	名前
月 日	

問題

次の文章を、まず声に出して読みましょう。その後、問題に答えましょう。

東京^{あた}辺りと四国の南側の海岸^{みちしお}とでは満潮の時^じこくは一時間くらいしかちがわないし、満干^{みちひ}の高さもそんなにちがいませんが、四国の南側とその北側とでは満潮の時こくは大変にちがって、所によっては六時間もちがい一方の満潮の時に他の方は干潮^{ひきしお}になることもあります。

また、内海では満干の高さが外海の倍にもなる所があります。

このようにある所では【満潮】であるのに他の所では干潮になったり、内海の満干の高さが外海の満干の高さの倍になる所のあるのは、潮の流れがせまい海きようを入れるためにおくれ、また、方々^{ほうほう}の入り口から入りみだれ、重なり合うためです。

（寺田寅彦作「瀬戸内海の潮と潮流」より）

1 「満潮」の時こくについて、次の1・2に答えましょう。

1 満潮の時こくの差が小さい所は、どことどこですか。

差が小さい所は、（東京^{あた}辺り）（と）四国^{しこく}の南側の海岸（と）です。

2 満潮の時こくの差が大きい所は、どことどこですか。

差が大きい所は、（四国^{しこく}の南側）（と）四国^{しこく}の北側（と）です。

2 【 】の中に入る言葉を、文章の中からさがして書き入れましょう。

3 この文章に書かれている内容^{ないよう}と合っている文を選びましょう。

ア 潮の流れの速度や海きようへの入り方によって、満潮の時こくや満干の高さがちがう。

イ 東京^{あた}辺りや四国は、どこも満干の高さが変わらない。

ウ 内海の満干の高さは、どこも外海の倍の高さになる。